

# 手芸品の製作（編み物）の指導

足利市立坂西中学校

青 木 君 江

## 1 はじめに

技術、家庭科の目標（被服領域）から、被服製作は単なる技術や知識の習得であってはならない。製作を通して、工夫創造の能力や実践の態度を養う、とあげられている。

終局的にはここで得た技術、知識や工夫創造の能力、実践の態度を生かして衣生活をより豊かにする能力を養うことである。

生徒が意欲的な学習をするためには、その学習の課題を自分のものとしてうけとめ、その学習の見通しをもって進まれるような題材、指導過程の構成が大切である。

そこで一人一人の生活に役立つような能力をつけるための指導過程についてどうあればよいだろうかと考え研究を進めてみた。

## 2 学習指導の工夫

### (1) 指導のねらいの観点

手芸品の製作は、ししゅう・編み物・染色のうちから1つ以上を選択して指導する。実習題材として、これらの手芸にはそれぞれに特徴があり、生徒の興味・関心、地域の実態を考え選択する。

限られた時間のため画一的な教材やセットものの利用で創意・工夫の時間を省略することは生徒の独創性や意欲を失いがちである。限られた時間でもそれなりの工夫が必要である。

### (2) 教師のくふうを生かした題材選び

題材を生徒の意欲面からとりあげる。教科書の実習例は、題材として範囲と程度を示した一例である。生徒の好みや能力に応じて使用目的や形をくふうし、教師の実績や学習用資料の活用により効果的な学習がすすむようにする。

また作品は、生徒の生活に身近なもので役立つものを選んだり、手法の簡単なものも取り入れたりして手芸を気安く生活の中に取り入れる現代の風潮を学校教育の中にも生かしたい。実技をとまなう教科は知ることそのままにとどまらず、知ると、できることの二面が遊離しないという条件を考えることが大切でそのためには生徒がどこまでも追求し興味をもって意欲的に学んでゆくことのできるようにその欲求面から題材を選んでみた。

### (3) 学習形態

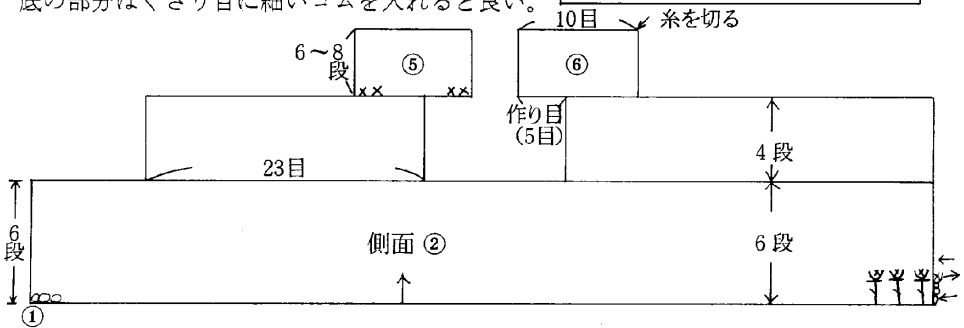
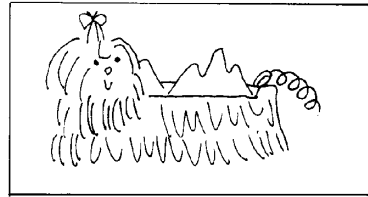
能力・経験による個人差が大きいので、能力のある生徒を意識的に組みこんだグループ学習による指導を取り入れる。

### 3 指導内容

#### (1) いぬのティッシュペーパーカバー

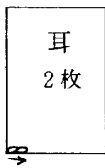
##### 編み方

- ① 編みはじめ、くさり70目
- ② くさり3目で立上がり（長編1段、リング編1段）を3回（6段）くり返す。
- ③ 続いて23目を（長編1段、リング編1段）を2回（4段）編む。
- ④ 12目において糸をつけ23目を（長編1段、リング編1段）を2回（4段）編む。
- ⑤ 続けてくさり5目編み（細編1段、リング編1段）を4回（8段）編む。
- ⑥ 別くさり5目作り目、③の5目手前のところより糸をつけ（細編1段、リング編1段）を4回（8段）編む。③⑥は対称になる。
- ⑦ 耳2枚、尾1本を図のように編む。
- ⑧ 合いじるしに合わせとじる。目・鼻・口をつける。
- ⑨ 頭の部分にテロン綿をつめる。リボンを結ぶ。
- ⑩ 底の部分はくさり目に細いゴムを入れると良い。

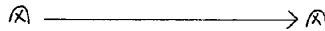
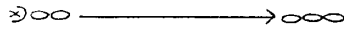


くさり70目作る（ティッシュペーパーの箱の回りの寸法）

リング編みは5.5cm幅の型紙で編む。



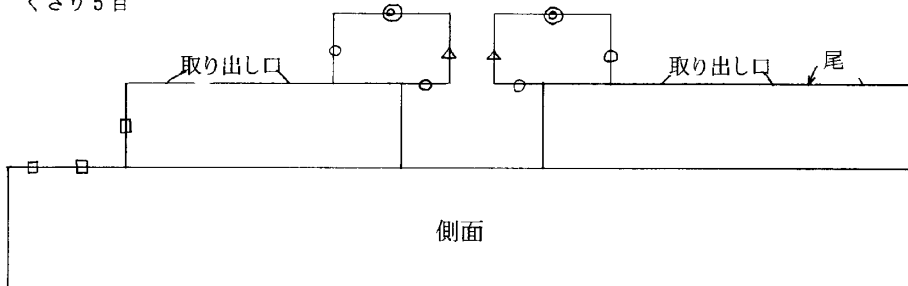
尾



くさり15目作り半目すくい

リング編で一周する。

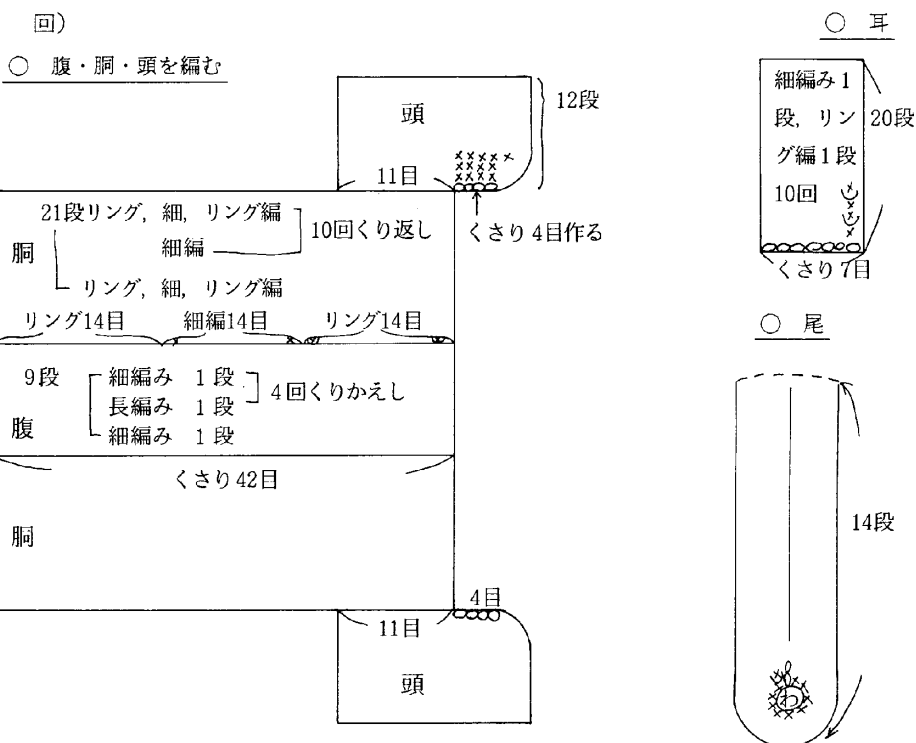
くさり5目



## (2) プードルの作り方

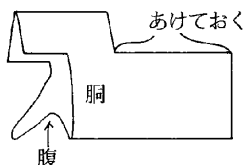
### 編み方

- ① 編みはじめ、くさり42目
- ② くさり1目で立上がり、細編1段（長編1段、細編1段）を4回くり返し9段編む。  
（腹の部分）
- ③ 胴は（リング細編14目、細編14目、リング細編14目）（細編）くり返し10回21段
- ④ 4目くさりを作る、続いて胴の部分11目編む。増し目をしながら12段頭部を編む。
- ⑤ くさり7目（細編1段、リング編1段）10回くり返す。20段＝耳 2個
- ⑥ 尾はわの中に細編10目、つぎの段リング細編、細編をくり返し14段編む。
- ⑦ 頭のかざり、くさり5目輪にして、リング編10目を編む。（くさり目の中にリング編2回）



- ⑧ 胴と腹・胴・頭をぬいあわせる。

（背の部分はあけておく）



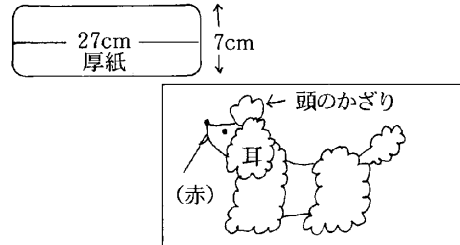
頭の部分は糸を強く引いてとじる。

- 頭のかざり

くさり5目輪にしてリング編10  
してリング編10  
耳  
（くさり目の中に  
リング編2回）

- ⑩ 腹の部分に厚紙を入れ、その上にわたを入れ、背の部分の糸を強く引いてとじる。  
しっぽにもわたを入れてとじる。

- (10) 耳・頭の飾り、しっぽをぬいつけ、  
耳・鼻をつける。



#### 4 評 価

作品の評価は結果だけでなく、過程が大切であるので、学習時間に於ける態度の評価を重視する。

〔被服3〕の到達度評価項目数は36にまとめられ、その内容は、技能-14、知識・理解-16、生活や技術に対する関心・態度-6である。

各観点内の項目数のほぼ $\frac{2}{3}$ 以上の◎の数があれば達成度(+)と判定する。◎が $\frac{1}{3}$ 未満～○が $\frac{2}{3}$ 以上であれば(空欄)と判定する。○が $\frac{1}{3}$ 未満であれば達成度(-)と判定する。

つぎにあげた観点別到達度評価の基準の手芸については、技能は13～14、知識・理解については25～28、生活や技術に対する関心・態度は31～35である。

〔被服3〕における各観点の評価基準

観 点	観 点 別 到 達 度 評 価 の 基 準		
	十分達成した(+)	おおむね達成した(空欄)	達成不十分(-)
技	1 ◎効率的に採寸できる。	○製作に必要なか所の採寸ができる。	△左の基準に達しないもの。
	2 ◎からだに合った型紙が選択できる。	○基準寸法をもとに、型紙が選択できる。	△
	3 ◎材料の性質を理解して選択できる。	○必要な材料の準備ができる。	△
	4 ◎効率的にしるしつけ、裁ち方ができる。	○布目方向、布地の表裏に注意し、経済的な裁ち合わせができる。	△
能	5 ◎効率的な仮縫いができる。	○手順よく仮縫いができる。	△
	6 ◎デザインに応じて、全体的な調和を考えた補正ができる。	○各部の長さやゆとりを考えた補正ができる。	△
	7 ◎効率よくきれいに本縫いができる。	○計画に従って本縫いができる。	△

観 点	観 点 別 到 達 度 評 価 の 基 準		
	十分達成した(+)	おおむね達成した(空欄)	達成不十分(-)
技    能	8◎縫いしろの分量をそろえて、きれいなしまつができる。	○縫いしろのしまつができる。	△
	9◎曲線部分をよく伸ばしてえりつけができる。	○バイアステープを使ってえりつけができる。	△
	10◎そでと身ごろのつり合いがよく、そでつけができる。	○しるしどおりにそでつけができる。	△
	11◎きれいに穴かがりができる。	○ボタン穴の位置、大きさを考えて穴かがりをする事ができる。	△
	12◎効率的に仕上げができ、たためる。	○繊維に適した仕上げができたため。	△
	13◎製作するものに適した材料が選べる。	○製作するものに必要な材料が選べる。	△
	14◎用具を安全に効率よく使用できる。	○用具の安全な使い方ができる。	△
知 識  ・ 理 解	15◎上衣はスモック、下衣はスカートと比較して、その構成が説明できる。	○パジャマは上衣(前身ごろ、うしろ身ごろ、そで、えり)と下衣(左右の布地)とで構成されていることが説明できる。	△
	16◎からだと型紙との関係が体型や運動量により違うことが説明できる。	○からだと型紙との関係を実物と比較して説明できる。	△
	17◎休養着に適した布地の通気性・吸湿性・保温性について説明できる。	○休養着に適した布地の繊維の種類と特徴を布地見本によって説明できる。	△
	18◎製作に必要な採寸か所を知り、効率よく採寸する方法が説明できる。	○製作者に必要な採寸か所を知り、被採寸者の姿勢およびはかり方が説明できる。	△
	19◎合理的な製作計画が立てられる。	○製作の手順を考えた計画が立てられる。	△

観 点	観 点 別 到 達 度 評 価 の 基 準		
	十分達成した(+)	おおむね達成した(空欄)	達成不十分(-)
知 識  理 解	20◎布目方向,表裏に注意し,経済的な裁ち方の方法が説明できる。	○布目方向,表裏に注意し,するしつけ,裁ち方の方法が説明できる。	△
	21◎効率的な仮縫いの方法が説明できる。	○えりつけのある上衣の仮縫いやズボンの組み立て方および仮縫いの方法が説明できる。	△
	22◎デザインに応じて全体的な調和を考えた補正の方法が説明できる。	○各部の長さやゆとりを考えた補正の方法が説明できる。	△
	23◎能率のよい本縫いの方法が説明できる。	○本縫いの手順や方法が説明できる。	△
	24◎能率のよい仕上げの方法とたたみ方が説明できる。	○繊維に適した仕上げの方法とたたみ方が説明できる。	△
	25◎手芸の応用範囲および衣生活・住生活の中で占める役割がいえる。	○手芸の特徴がいえる。	△
	26◎手芸に適した材料と用具についていえる。	○手芸に必要な材料と用具についていえる。	△
	27◎製作した手芸品は生活を豊かにすることがいえる。	○製作した手芸品は生活を楽しくするものであることがいえる。	△
	28◎手芸は余暇の利用として価値あるものであることがいえる。	○手芸は余暇の利用に適していることがいえる。	△
	29◎休養の重要さと被服の使用による休養の効果についていえる。	○休養と被服との関係について説明できる。	△
30◎生活様式,性格,年齢,職業などから,洋服,和服の特徴についていえる。	○洋服と和服の特徴についていえる。	△	
31◎計画的で効率よく作業がすすめられる。	○計画に従って作業がすすめられる。	△	

観 点	観 点 別 到 達 度 評 価 の 基 準		
	十分達成した(+)	おおむね達成した(空欄)	達成不十分(-)
生 活 や 技 術 に 対 す る 関 心 ・ 態 度	32◎自分だけでなく、他の人の安全にも注意をはらう。	○用具の扱いなどが慎重で、安全に注意しようとする。	△
	33◎おくれたり、わからない友人に協力する。	○グループ内で相互に協力し合おうとする。	△
	34◎いつもアイディアを生かしている。	○製作にくふうがみられる。	△
	35◎学習したことを応用発展させる。	○学習したことを生活の中で生かす。	△
	36◎衣生活の向上に心がけている。	○衣生活に関心をもっている。	△

## 5 お わ り に

人智が進んで機械文明が発達し、それらの大部分のものは工業化されたが、なお実用と趣味とから手芸はいっそう普及進歩しつつある。これに伴い手芸の材料・用具・技法・用途も次第にくふうされ、進歩し拡大されている現在、どのような題材が生徒の意欲につながるか、それにより題材の選定が大切になる。

また限られた時間内に所定の内容を指導するため夏休み中の質問日を利用、夏休みの宿題等で基礎を定着させ、それをもとに発展段階から授業を実施している。(夏休みの宿題は二学期のはじめ実技テストを実施し、基礎の定着を確認する。)

教師の作品見本を数種展示することにより生徒の意欲も一層強まり、またこれをもとに配色等も考えさせられる。単に言葉で表現するより見る、ふれることにより理解度も深まると思う。完成後家の人の批評欄で母親からのほめられた言葉があり、家族に生徒が教えている状態、また何一つ完成したことのない生徒が完成させやればできるの自信をもった生徒もいる。

地域の婦人部からの講習会の要請もあり、これらの事から今後も指導事項をおさえた意欲的な題材にとり組んで行きたいと思います。

## 評

家庭科教育は、総合的な性格をもつとともに、実践的・創造的性格をもつ教科であることは周知のこととおもいます。

したがって、生徒の主体的な実践活動を通して、仕事の楽しさや完成の喜びを体得させながら技術の基礎を習得させることが重視されます。

そのためには、特に指導過程とともに題材の選び方が課題となります。

このことについて、文部省指導資料では、手芸品について次の三点をあげています。

- 1 基礎的な手芸を習得させるとともに、生徒の創意が生かされるもの。
- 2 作品が、生徒の持ち物や家庭生活に適切に利用できるもの。
- 3 編み物は能力にかなりの差のあることを考慮して、個人差に応じて指導するのに適したもの。

この観点から、まさに、意欲的・主体的な学習をするためには、学習の課題を自分のものとして受けとめ、生徒自らが学習の見通しがもてることが必要であるとし、そのための題材、指導過程の構成が最も大切であるという発想の上に立ったすばらしい実践的研究があります。

さらに、結果よりも、その学習過程が大切であるとした具体的な観点別到達度評価の基準は、わたしたちにとっても、参考となる資料であると言えます。